

発言No.

7

受付No.

18

令和4年8月24日

10時34分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 16 番

氏名 芦谷 英夫

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、市民と地域と向き合う市政推進について

- ① 地域の日を実施する目的はどのようなものか、実際に出かけてみてどのような意見が寄せられ、地域の実情についてどのように把握し、実施してみたの所見はどうか。
- ② 協働のまちづくりを進め、まちづくり推進委員会で地域の自治がつくられるが、地域協議会がさらに機能するようにそのあり方、実質町内会長を兼ねている行政連絡員制度などを改革する必要はないか。

2、協働のまちづくりの推進状況について

- ① 地区まちづくり計画を策定されているが、その策定の状況はどのようになっているか、ともすれば行政の縦割りとなっているが、地区まちづくり計画が地区福祉計画など他計画との整合をどのようにとられているのか。
- ② まちづくり推進委員会に地域の自治活動の役割を担う、環境清掃指導員、福祉委員、すこやか員、保健委員、食生活改善推進員などが、協働のまちづくりの名の下、きちんと位置づけられ、活動できる態勢となっているのか。

3、民間活力との協働による地域活性化の構築について

- ① 飲食店情報サイト「ぐるなび」から職員の派遣を受け、地域活性化を推進されるが、具体的に事業展開する食や特産品の分野はどのようなことを想定していて、市の縦割りを超えた態勢をどうつくるのか、さらに民間事業者の参画が不可欠であるが、どのような構想を描いているのか。
- ② 観光の振興、石見神楽の振興などにおいても民間活力の導入、民間事業者の参画が必要であるが、これまでDMO（観光地域づくり法人）の提案をしているが、その後の検討状況はどうか。

4、健康づくりから介護予防まで、一体として進める態勢づくりについて

- ① これまで指摘してきた、要介護認定者数の高止まり、要介護認定率の上昇などに対して、具体的にどのような対策を打ってきて、これからどう介護予防事業を進める考えか。
- ② はまだ健康チャレンジ事業への参加、特定健康診査、がん検診など各種検診などの推移から、市民の健康づくりは十分行き届いているか。

5、公共交通を守る、市民の交通の便を確保することについて

- ① JRの利便性の向上が求められ、JRを活用した地域振興が必要であるが、これまでのJRに、国県に、善処方をその存続を求めることだけでなく、市として強力な運動を展開する、市としてJRを活用した新たな地域振興策を構築する必要があるのではないか。
- ② 高齢化率の上昇、運転免許返納者数、敬老福祉乗車券の販売数と使用数、どんちっちタクシーの利用者の要望、あいのリタクシーなどの事業化などの状況から、交通弱者対策の課題をどうとらえていて、これからどのように事業展開するのか。

発言No.

8

受付No.

1

令和 4 年 8 月 11 日
16 時 29 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 8 番

氏名 川上 幾雄

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 過疎について

昭和30年代以降、日本経済の高度成長の中で、農山漁村地域から都市地域に向けて、若者を中心に大幅な人口移動が起こり、都市部では人口集中による「過密」問題が起こるようになった。「過疎」というのは、このように地域の人口が減ってしまうことで、その地域で暮らす人の生活水準や生産機能の維持が困難となってしまう状態をいうとある。

(1) 過疎地域について

市内には人口減少により過疎地域と呼ばれる地域が生まれている。

- ① 浜田市における合併前の過疎地域を問う。
- ② 浜田市における旧自治区の面積を問う。
- ③ 合併後の非過疎地域及び過疎地域の昭和35年以降の人口減少状況を問う。

(2) 過疎地域の生活水準・生産機能の維持改善などに必要な対策について

- ① 令和3年度に行われた、過疎地に対する事業（ハード、ソフト）を問う。
- ② 過疎地に対しての国の措置を問う。

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 3 番

氏名 大 谷 学

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 学校教育の充実について

(1) 「理数教育の充実」を目指すこととした背景について

- ① 3月定例会議に示された令和4年度教育方針に、前年にはなかった「理数教育の充実」が新たに加えられた。どのような認識により加えたのか、その背景について伺う。

(2) 理科振興法に基づく国の予算獲得への準備状況について

- ① 3月定例会議における一般質問の答弁では、令和5年度から活用できるように取り組むとのことであったが、現時点での準備状況を伺う。

(3) 「理数教育の充実」を評価する観点について

- ① 今後、理数教育が充実したと評価するとき、どのような評価項目を設定し、どの程度の成果をもって充実と評価するのか、その認識を伺う。

2 浜田港を活かした産業振興とまちづくりについて

(1) 重要課題である大型船舶に対応する港湾整備について

- ① 大型船舶に対応していないため利用を諦める事例もあると聞くが、現状を伺う。
- ② 令和5年度国県重点要望事項の1つでもある福井埠頭第5岸壁の整備計画を国が認可して予算がついたとき、過去の福井埠頭建設と同様に浜田駅前にあった道分山以上の埋め立て用の土砂の確保や土砂を切り出した跡地の活用などのビジョンを市が持つておくべきと思うが、ビジョンを準備しているか、あるのであればその概要を伺う。

(2) 防災の視点からの港湾整備について

- ① 8月19日に「地域防災について」というテーマで開催された「浜田地域協議会と議会との意見交換会」の席上において、出席委員から「病院船が接岸できるようにして大規模災害にも対応できるように港を活かした地域防災や広域防災も考えていくべき」との趣旨の提言があった。このような提言に対する市としての見解を伺う。

発言No. 10

受付No. 13

令和 4年 8月 24日
9時 46分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 20 番 氏名 西 田 清 久

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 浜田市の未来に向けての考え方について

(1) 次世代の人材育成について

- ① 先日開催された令和4年度 地域の日、第1回テーマ「若者対策」～若者が暮らしたいまちづくりについて～ では、各地域の若者から様々な前向きな意見が出されたと思うが、市長はその声をどのように受け止められ、今後の政策展開へ繋げようとされるのか、所見を問う。
- ② ここ数年、市職員で定年を待たずに途中退職される若い人が増えているように思う。原因や理由はいろいろあると察するが、市としてどのように分析、退職後の状況を把握しているのか問う。
- ③ 市内小中学校の教育現場から毎年出される「要望」について教育委員会では、予算がありませんという理由で、なかなか聞き入れて頂けないのが現状と伺うが、内容をしっかり精査し、未来を担う子どもたちのためになることならもっと真剣に受入れるべきと考えるが、市長の所見を問う。

(2) 浜田市の中山間地（里山）の様々な可能性について

- ① 浜田市は、過去において漁業をはじめとする様々な産業で外貨を稼ぎ、栄えてきた。近年では自然環境も変化していき、全国的にも地方自治体のほとんどが、人口減少と高齢化で共通の課題を抱えている中、これから先の浜田市の経済力はどこから生まれ、何によって成長するのか、経済の柱について所見を問う。
- ② 浜田市の中山間地（里山）の持っている潜在能力や将来の可能性について問う。

発言No. 11

受付No. 11

令和4年8月24日

9時30分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 7 番

氏名 村武 まゆみ

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 認知症支援施策の推進について

(1) 認知症について

- ① 令和3年度から5年度までの浜田市高齢者福祉計画の認知症支援施策の充実の一つ目として、認知症に対する理解の普及とある。認知症サポーター講座等を通じて、現在市民の中で認知症についてどの程度理解が進んでいるか伺う。
- ② 認知症サポーター養成講座を実施するキャラバンメイトの現状について伺う

(2) 若年性認知症について

- ① 18歳以上65歳未満で認知症が発症した場合「若年性認知症」と言われている。厚生労働省によると、18歳から64歳の発症者数は人口10万人当たりの約50人と推計されているが、浜田市において若年性認知症の人数をどのように把握しているか伺う。
- ② 若年性認知症の影響などについてどのように考えているか伺う。
- ③ 若年性認知症についての理解啓発についてどのように行っているのか伺う。

(3) 認知症になっても暮らしやすい地域づくりについて

- ① 認知症になっても暮らしやすい地域づくりに向けての取組みについて伺う。
- ② 認知症本人のピア活動の推進状況について伺う。

(4) 認知症ケアパスについて

- ① 浜田市で作成している認知症ケアパスをどのように運用しているか伺う。

2. 生活支援サービスの充実について

(1) 生活支援体制整備事業について

- ① 生活支援体制整備事業計画について伺う。
- ② 現在、浜田市社会福祉協議会に委託している生活支援体制整備事業の成果について伺う。
- ③ 各地域のまちづくり委員会などの組織との連携について伺う。

(2) 地域ケア会議について

- ① 地域ケア会議の目的と現状について伺う。

